

女性の活躍応援事業【島根県】

個別事業費	7,423 千円
交付金額	3,711 千円

地域の実情と課題

- ①中山間地域が多く、県内企業の99.9%が中小企業で、小規模企業の割合が高い。
- ②女性の就労意欲は高く、有業の女性は多いが、女性は働き続けにくいと感じており、夫の家事・育児時間も女性に比べ少ないため、女性に負担がかかっている。また、女性の管理職への昇進意欲は低い。
- ③県内全域で、企業において女性の活躍推進のための取組が進んでいるとは言い難く、経営者、管理職等と女性の間意識の乖離がある。
- ④県内の有効求人倍率は全国に比べ高く、人手不足が深刻な状況にある。

事業の特徴

- ・連携団体が主体性をもって女性の活躍推進に取り組むため「しまね働く女性きらめき応援会議」にワーキングチームを設置し、事業を実施。
- ・就労体験付きパソコン講習会について、子育てなど時間の制約が多い女性で、非正規から正規雇用を目指す方を対象に、参加しやすく、必要なデジタルスキル等を学ぶことのできる講習や就労体験を実施
- ・参加者には県が設置する女性就職相談窓口（レディース仕事センター）への求職登録を案内し、登録者にはレディース仕事センターが主催する「企業と求職者の茶話会」「企業セミナー及び企業説明会」「出張相談会」等のイベント情報の提供のほか、求人情報の提供など就労支援を行った。

事業の効果

- ・就労体験付きパソコン講習会は23人（東部14人、西部9人）が受講し、パソコンスキルの向上、興味のある他業種への就職可能性の広がり、キャリアカウンセリングによる職業意識の醸成などがみられた。
- ・講習会後の調査では、就職・転職活動に取り組んでいると回答したのは6名で、講習を通じて正規職員への転換に向けた意欲醸成ができた。また、家庭の都合などですぐに就職・転職活動に取り組むことができていない参加者も多かったが、パソコンスキルを身に着けたことで「自信がついた」「現在の仕事にも活かすことができた」との声も多く、将来的には現在の職場での処遇改善や正規職員への転換につながることが期待できる。

目的・目標

全県での女性の活躍推進のための取組の促進「全国一働きやすく女性が活躍する島根県」の実現と県内企業の発展。

【事業目標：しまね女性の活躍応援企業登録数 625社(R8年度)】

【達成状況：令和6年3月末の登録数 380社】

連携団体

【しまね働く女性きらめき応援会議】

【経済団体】 商工会議所・商工会連合会、中小企業団体中央会、経営者協会、経済同友会 他

【農林水産団体】 JA、森林組合 他

【労働団体】 連合島根、連合島根女性委員会

【女性団体】 連合婦人会、21世紀職業財団、栄養士会、看護協会、保育協議会 他

【教育機関】 島根大学、島根県立大学、松江高専

【学識経験者】[行政] など

今後の課題

- ・さらなる女性活躍を進めていくためには、女性の就労支援を継続して実施し、女性が結婚・出産を迎えても離職することがないように、企業における子育てへの意識を高め、男性の家事・育児参加を促進する取組を継続して実施する必要がある。

(受入企業(社会福祉法人))